

書写指導員派遣事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		R6 年度	
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			H19 年度 経過年数 18 年
補助率	-								□ その他			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,292				2,292							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	2,695	2,695	2,695	2,695	2,292	・派遣時間減による報償費の減 ・書写指導員研修講師の旅費の減 (R5：東京→R6：新潟)						
2月現計予算額の推移	2,695	2,695	2,695	2,695								
決算額の推移	2,605	2,568	2,648									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	(目標)							児童・生徒の書写技能および教員の指導技術の向上を図るための事業であり、定量的に成果を把握することは困難である。				
	実績											
活動指標	書写(書道)指導員がサポートする学校数	(目標)	(70)	(70)	(70)	(70)	(70)	(70)	年間で小学校40校、中学校30校程度を目標とする。			
		実績	67	74	81	79						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
活動指標は、目標を超えて達成することができ、派遣実施校からも教員の技能向上や児童・生徒の書写に対する意欲の高まり、書字能力の向上が見られたなどの報告があったことから、来年度も継続する。 ・派遣校79校 1,227時間 ・書写指導員派遣候補者リスト登録 72名 ・書写研修会 3会場 69名				学校の希望に応じ、1校あたりの派遣時間数を見直し、継続していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	403	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

文化財指定促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助								事業 経過 年数	11 年		
補助率	県1/2								事業 経過 年数	11 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[1 学びを伸ばす(人材力)]				関連する県の計画等		[福井県文化財保存活用大綱]				
[解決すべき問題・課題]					[問題・課題を表す客観的データ]							
県内の文化財の価値付け、保存、活用が十分行われていない					・国重要文化財指定数 福井県114件 石川県136件 富山県50件 岐阜県159件 静岡県225件 愛知県343件 三重県190件 ・国重要無形民俗文化財指定数 福井県5件 石川県8件 富山県9件 岐阜県12件 静岡県11件 愛知県12件 三重県10件							
[事業目的]												
県内にある未指定の文化財の掘り起こしと価値づけを行うとともに、県民の財産である文化財を保存し、学校教育や観光への活用を図るため、国指定等に向けた調査を推進する。												
[事業内容]												
(1) 国指定等に向けた歴史資料、建物等の調査 ・井田家所蔵古写真 ・大瀧神社建造物 等 (2) 文化財調査特別顧問の配置												
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 文化財保護審議会 (役割分担) 県指定文化財の指定について審議等を行う					
市町との連携状況	市主体の調査については、市が中心となって調査委員会を組織し、調査を行い、県はオブザーバーとして学術的な協力を行う。					他県の状況						

文化財指定促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章			
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	県1/2													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	8,461	2,624			5,837		国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		7,281	6,647	8,041	2,331	8,461	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三田村家文書・大瀧神社文書の歴史資料調査事業終了による減 ・ 若狭能倉座の神事能調査事業終了による減 ・ 井田家所蔵古写真調査事業開始による増 ・ 大瀧神社建造物調査事業開始による増 							
2月現計予算額の推移		4,182	6,077	8,041	2,331									
決算額の推移		2,171	5,504	7,291										
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ R3 一部調査廃止による減額（大滝地区文化財レベルアップ調査 廃止） ・ R4 戸祝い行事の調査事業終了年度による報告書刊行等による増額 ・ R5 調査完了による減額（R5 戸祝い行事、旧京藤甚五郎家住宅調査 完了） 												
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	文化財の新規指定件数	(目標) (10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	年ごとに実際の新規指定件数に多少の増減はあるが、県指定を年間10件を目安に指定を進めていく。					
		実績 11	10	4	4									
活動指標	文化財調査件数	(目標) (27)	(27)	(27)	(27)	(27)	(27)	(27)	文化財の調査件数についても、毎年同数を継続して調査していくことが、安定的な指定へとつながるため、同数を維持する。					
		実績 27	29	34	28									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
活動指標の調査件数については、目標どおり達成。一方、成果指標の新規県指定については、目標未達。 (事業による要因) 調査に想定以上の時間を要し、指定に至っていない文化財があるため。					県指定については、調査担当の文化財保護審議会委員と円滑に調査日程を調整、目標通りの指定件数を目指す。□				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

福井の文化財緊急修理事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章								
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度							
事業実施方法	補助																		
補助率	事業費の1/6																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県文化財保存活用大綱]												
[解決すべき問題・課題] 福井県の魅力を発信するうえで、文化財を修理し、活用していくこと、また崩壊する恐れがある文化財について、緊急的に修理が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・崩壊の危険があるが修理を先延ばしにしている件数 1件 (荻野家住宅)													
[事業目的] 歴史的魅力にあふれた文化財群を修理・整備することにより、福井県の魅力発信する手段として活用する。																			
[事業内容] 重要文化財のうち、崩壊の危機など緊急性の高いものにかかる修理事業を支援 ・旧瓜生家住宅 建造物半解体工事 (耐震診断、実施設計書作成 等)																			
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井の文化財を未来へ プロジェクト (役割分担) 本事業では、緊急的に修理が必要な文化財に補助金を交付する。「福井の文化財を未来へ プロジェクト」では、修理を通して、所有者の負担軽減や技術者・材料等の課題を解決するモデルとなる文化財に補助金を交付する。												
市町との連携状況	国、県からの補助金を活用し、市が事業を実施する。 (補助率 国 1/2、県 1/6 (市負担 1/3))					他県の状況													

福井の文化財緊急修理事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H27 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	補助											
補助率	事業費の1/6											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	4,283					4,283						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		25,499	19,739	29,579	9,101	4,283	・修理内容による減額					
2月現計予算額の推移		12,166	19,739	29,579	1,765							
決算額の推移		5,151	18,928	28,584								
前年度までの主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・R3 補助率調整による減額 ・R4 交付件数増による増額 ・R5 事業組換えによる減額 										
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	緊急修理が必要な文化財の総数に対する補助件数割合(%)	(目標) (100) 実績 100	(100) 100	(100) 100	(100) 100	(100)	(100)	(100)				
活動指標	補助金の交付件数	(目標) (1) 実績 1	(2) 2	(3) 3	(1) 1	(1)	(2)	(2)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・市町から要望のあった事業については、予定どおり補助金を交付することにより、成果指標および活動目標は達成した。 ・所有者の財政面の問題等により要望にあげることができなかった事業に対しては、今後の事業の進め方の助言等行うに留まった。 				令和6年度では耐震診断・設計等を実施するため、事業費が減額となる。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	4,818	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井の文化財を未来へ プロジェクト

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外（地おこ）	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章				
事業主体	県、文化財所有者				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度			
事業実施方法	直営、補助								福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政 策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]	関連する県の計画等	[福井県文化財保存活用大綱]			
補助率	事業費の1/15														
[解決すべき問題・課題] 文化財修繕のための適切な技術者や材料が県内では乏しく、国指定では県外業者への発注となる。そのため修理費が高額となり、県内に事業費がほぼ還元されない。						[問題・課題を表す客観的データ] 所有者自己負担：大安寺・西福寺とも2億円超 重文施工元請ができる会社：県内1社									
[事業目的] 全国的にも主要修理の「大安寺」および「西福寺」をモデルとし、所有者の負担軽減や技術者育成等の課題を解決し、修理事業による効果の県内循環を創出することを目指す。															
[事業内容] (1) 適切な文化財修理の実施（文化財修理に係る補助金交付） 大安寺、西福寺の修理を着実に実施するため、県補助金を交付する。 (2) 資金調達のためのクラウドファンディングの情報発信支援（ふるさと納税を活用したクラウドファンディング等） 所有者が資金調達する際の情報発信支援として、地域おこし協力隊を活用する。 (3) 技術者育成、県産品にかかる研修会等開催 文化財修理現場にて技術者育成のための研修会を行うとともに、県産品の増産に向けた研修会を開催する。 (4) 修理中の文化財の見学会等の実施 大安寺および西福寺の大修理を全国にPRするため、イベントや見学会を実施し、観光客の増加を目指す。															
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井の文化財緊急修理事業 (役割分担) 「福井の文化財緊急修理事業」では、緊急的に修理が必要な文化財に補助金を交付し、本事業では、修理を通して、所有者の負担軽減や技術者・材料等の課題を解決するモデルとなる文化財に補助金を交付する。										
市町との連携状況	国、県、市が文化財所有者へ補助金を交付する。 (補助率 国4/5、県1/15、市1/15)				他県の状況										

福井の文化財を未来へ プロジェクト

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外（地おこ）	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県、文化財所有者				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	事業費の1/15											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	61,091					61,091						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					59,000	61,091	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域おこし協力隊に係る経費の増 ・ 県産品にかかる研修会経費の増 					
2月現計予算額の推移					55,431							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	重文修理における県内中核技術者（人）				(0) 0	(0)	(16)	(16)	中核技術者：重文修理第一線で活躍し、人に教えることができる方を想定（R5・6年度の研修で熱意のある技術者を発見し、R7年度の研修で中核技術者のレベルに引き上げる。）			
活動指標	修理現場での研修会開催（回）				(5) 2	(5)	(10)	(15)				年5回×3か年
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・ 活動指標について、目標を達成できなかった。 (事業による要因) 研修に適する文化財修理工程と研修時期との調整が困難だった。				・ 年度当初に研修の年間計画を作成し、時期を逸することなく研修を実施していくとともに、令和6年度より県産品にかかる研修会を新たに開催する。 ・ 引き続き地域おこし協力隊を活用して、情報発信を強化していく。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	-	
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

文化財継承基盤整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営			経過年数					5 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県文化財保存活用大綱]					
[解決すべき問題・課題] 平成31年4月の文化財保護法の改正を受け、「福井県文化財保存活用大綱」を策定し、県内文化財の総合的な保存・活用に向けて、文化財の基礎情報の把握と文化財の保護意識醸成等が求められている。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和5年末現在文化財保存環境状況調査件数： 123件／約500件						
[事業目的] 有形文化財を中心とした、国・県指定文化財の保存環境等の状況調査を実施し、今後の文化財の保存・活用に生かすとともに、調査結果を学校教育等で活用することにより、文化財への保護意識の醸成に努め、次世代に継承していくための基盤を整備する。また、修理が必要な文化財の早期発見につなげる。												
[事業内容] (1) 国・県指定文化財の所在確認等調査 ・ 所在場所、所有者(管理者)等の確認 ・ 文化財保存環境状況等の調査 等 (2) 県指定文化財台帳の更新・デジタル化、国指定文化財台帳データベースの作成 (3) リニューアルホームページ「福井の文化財」の運用												
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 文化財保護審議会 (役割分担) 文化財保存環境状況等の調査には、文化財保護審議会委員等の学識経験者とともに実施する。				
市町との連携状況	市町は、文化財所有者との日程調整を行い、調査に同行する。また、調査対象文化財を県・市町と共通の場で確認することにより、文化財の現況を共有する。					他県の状況						

文化財継承基盤整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金				
補助率	—					□ その他			□ その他				
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,023						1,023						
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		9,412	1,158	1,158	1,003	1,023	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品費の減 ・ 旅費単価増による増額 						
2月現計予算額の推移		5,334	828	844	765								
決算額の推移		4,957	653	681									
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ R3 ホームページリニューアル完了による減 ・ R5 事業内容の見直しによる、単年度報償費および旅費の減 											
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	指定文化財台帳の整備件数	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(300)	常時整備	調査対象文化財の紙媒体の台帳（総数約500件）を、年100件×5か年でデジタル化し、データとして整備。				
		実績 100	100	100	100								
活動指標	国・県指定文化財調査件数	(34)	(139)	(139)	(75)	(75)	(250)	(500)	調査対象文化財（総数約500件）を10か年で調査				
		実績 22	29	33	39								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果指標の指定文化財台帳のデジタル化は、目標どおり達成。 ・ 活動指標の文化財調査件数は、目標を達成できなかった。 (事業による要因) 調査担当の学識経験者の多忙化により、調査日程の調整が困難だった。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査可能な学識経験者を広く確保し、調査が円滑に進むことを目指す。 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

社会教育関係団体活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県、社会教育関係団体				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、補助								事業 経過 年数	4 年		
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野	[1 学びを伸ばす(人材力)]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]				
[解決すべき問題・課題] ライフスタイルの変化等により地域のつながりに対する意識が希薄化し、社会教育関係団体は、会員数の減少など団体が衰退。それにより、生活における相互扶助や伝統文化の維持、地域課題の解決等の地域の社会教育機能が低下。団体活動活性化に向けて、地域住民が参加したくなるような魅力的な教育プログラムの開発や活動の周知が必要。					[問題・課題を表す客観的データ] H21の団体毎の会員数を 100 とする。 R02の " の会員数 53.6 R03の " の会員数 49.8 R04の " の会員数 49.0 ※団体毎の会員数をH21と比較した割合の平均値							
[事業目的] 県域で活動する社会教育関係団体(以下、「団体」という。)が公民館等と連携して、子どもから高齢者まで様々な世代の地域住民にSDGs達成に向けた多様な教育の提供を支援し、団体活動が活性化することにより、地域の社会教育を促進する。												
[事業内容] (1) 団体活動への補助および団体活動報告会・情報交換会の開催 ・社会教育関係団体がSDGsの達成にむけた活動プログラムを作成 ・社会教育関係団体の活動プログラムをリスト化し、市町・公民館等に事業を周知 ・県は、公民館等と社会教育関係団体が連携して行った場合、参加人数に応じて活動支援費を社会教育関係団体に支給 ・団体、市町担当者、公民館関係職員(社会教育士を含む)等による「団体活動報告会・情報交換会」を開催(年度末) <活動支援費(活動費の1/2)> 参加者(人) 活動支援費(千円) ① 1~19 60□ ② 20~39 75□ ③ 40~ 90 (2) 団体に登録ボランティアを派遣し、公民館と連携して若者向けの講座等を開催する。												
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	・支部団体への事業内容の周知 ・県主催の情報交換会に、団体、市町担当者および公民館関係職員(社会教育士を含む)等が参加(R6.2.24)					他県の状況						

社会教育関係団体活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県、社会教育関係団体				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営、補助									R3 年度		
補助率	1/2									経過年数		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,387				2,387							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		3,946	3,592	3,247	2,387	事業実績による申請見込金額の減						
2 月現計予算額の推移		2,564	2,135	1,970								
決算額の推移		616	1,238									
前年度までの主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ R4 事業実績による申請見込の減 ・ R5 事業実績による申請見込の減 											
[成果指標等の推移]												
区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	団体会員数 (ポイント)	(目標)	(51.9)	(50.8)	(49.7)	(48.6)	(47.5)	(46.4)	地域の社会教育機能の促進を団体会員数で測る。10年前の団体の会員数を100とするとR6の会員数は38.8Pと予測されるが、本事業により、予測より8P増加する。			
		実績	53.6	49.8	49.0							
活動指標	活動数 (件)	(目標)	(50)	(42)	(42)	(30)	(30)	(30)	団体が希望した公民館等と連携して教育活動を行った数			
		実績	12	23	22							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価				
R5 年度の成果指標の団体会員数については、年度明けの調査により確認する。R4 年度の成果指標および R5 年度の活動指標については、下記の理由のため目標を達成できなかった。 (外的要因) ・ 会員の団体脱退 (事業による要因) ・ 支部団体への事業の周知不足と事務手続きの負担感				・ 過去の補助実績を鑑み、補助見込件数を縮減する。 ・ 団体の会議等で、事業内容や事務手続きのサポート等を説明する場を設け、一層の周知を図る。 ・ 17 市町を訪問し、市町担当者へ情報提供。 ・ 公民館と連携して若者向けの講座等を開催する団体向けに、県から登録ボランティアを派遣する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	860	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

こども歴史文化館魅力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政 策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 新型コロナウイルスや常設展示の内容が開館当初から大幅に更新されていない等の要因から年間来館者数が平成30年度に比べ減少傾向にある。						[問題・課題を表す客観的データ] 過去5か年の来館者数推移 H30年度 40,275人、R元年度 31,197人、R2年度 19,841人、R3年度 16,386人、R4年度 18,728人						
[事業目的] 小中学生などの来館者が楽しみながら学ぶことができるよう、展示エリアの設備更新を行うことにより、こども歴史文化館の魅力向上を図る。 令和11年度(開館20周年)の利用者8万人をめざし、周年事業、他館との連携事業、広報事業を計画的に行い、こども歴史文化館の利用促進を図る。												
[事業内容] ・参加型展示の拡充 来館者の常設展示への興味、関心を高めるため、参加型展示(来館者自身が展示の一部になる、展示の中に入る等)の拡充を行う。 先人のひろば「杉田玄白」コーナーへの参加型展示の追加。 ・周年事業の実施 開館15周年を記念するとともに、当施設を県内外に広報し、利用促進を図るため、開館15周年記念イベントを開催する。 記念講演会、ワークショップ等の企画、実施。 ・他館との連携事業 当館の利用促進を図るため、他館と連携し、来館者が各館を周遊する形のイベントを企画、実施する。 県内の博物館と連携したスタンプラリー的なイベントの企画、実施。												
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約6万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	特別展等のチラシを市町教育委員会から各小中学校へ配布					他県の状況	ふるさと学習を目的に、子どもたちを主なターゲットとし、人物をテーマとした教育機関は全国にほとんど例がない。 (盛岡市(岩手県)、金沢市(石川県)、鹿児島市(鹿児島県)の3県のみ)					

こども歴史文化館魅力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			
補助率	—								□ その他			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源			国庫、その他財源の名称等				
予算額	2,105				2,105							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			5,206	6,138	2,105	事業内容の変更に伴う減						
2 月現計予算額の推移			5,206	5,874								
決算額の推移			4,964									
前年度までの 主な増減理由	・ R5：事業内容の変更に伴う増（漢字ファンタジアの整備（ハード、システム整備））											
[成果指標等の推移]												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	利用者数（人） （目標） 実績	32,729	24,334	24,926	(40,000)	(50,000)	(60,000)	(55,000)	(70,000)	（中間目標）H29～R1の平均 （最終目標）中間目標から展示閲覧システムの稼働による校外学習の来館者数および企画展の来場者数の増加を見込む		
活動指標	団体利用した小中学生数 （回数） 実績	29	36	37	(50)	(50)	(60)	(65)	(80)	（中間目標）H29～R1の平均 （最終目標）現在の1.6倍の利用		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ R5 年度は、成果指標・活動指標とも R6. 4 月に実績が確定するため未記載。 ・ R4 年度は、成果指標、活動指標とも目標を達成できなかった。（事業による要因） <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント等における参加定員制限等のコロナ対策を実施 ・ 来館者の展示への興味、関心を高めるための常設展示の見直し不足 ・ 県民に当館を周知してもらおう広報活動の不足 ・ 校外学習、出前教室での利用を増やすための学校向けの利用プランの提供やそのPRの不足 				R5 年度に漢字ファンタジアの更新が完了し、3 月から供用開始した。また、R6 年度追加する体験型展示や周年事業の実施など、興味関心を高める事業の実施と機会を捉えた周知広報の強化、学校利用向けプランの作成と提供により、個人利用や団体利用の増加を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	4,033	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

子どもの読書活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H15 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			経過年数					22 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)]		政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]		関連する県の計画等		[第3次福井県子どもの読書活動推進計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
自主的に読書を楽しむ児童の割合が低い						ふだん読書をしない小・中・高校生の割合 小学校：24.6% (R5)、中学校：37.8% (R5)、高校：46.3% (R5)						
[事業目的]												
子どもが自主的に本に親しみ、みんなで読書を楽しむ環境づくりのために、家庭、地域、学校において子どもの読書活動を推進する。												
[事業内容]												
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○福井県子どもの読書活動推進会議の開催 ○同年代に読書の楽しさを伝える「ジュニア司書」を養成 ○幼稚園教諭、保育士向けの研修会を開催 ○成長段階に応じ選定した推奨図書の普及啓発 等 </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○産科のある病院と連携し、絵本講座を開催 ○教職員や子ども読書ボランティア向けの研修会を開催 </div> </div>												
[受益者] 0歳～高校生						[想定される受益者数] 約13万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 わくわく読書活動応援事業 (役割分担) 「子どもの読書活動推進事業」では、赤ちゃんから高校生までの子ども全体の読書活動を推進し、「わくわく読書活動応援事業」では、小学生の読書活動を重点的に推進する。					
市町との連携状況	・市町の図書館職員および学校図書館担当教員が選定委員として、県とともに推奨図書の選定を実施する。 ・県主催の読書担当者会議に参加し、意見交換・情報共有を行う。					他県の状況	・国は令和5年3月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を定めた。全都道府県が、子どもの読書活動推進計画を策定し、計画に基づく取組を実施している。					

子どもの読書活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H15 年度 経過年数 22 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	3,270				3,270							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		3,077	4,475	3,759	3,849	3,270	・ 推奨図書小冊子の印刷部数減、小冊子掲載図書整備冊数減 ・ 次期計画策定のため、福井県子どもの読書活動推進会議の回数増 ・ 福井県文学特別顧問による講演会等開催回数減 ・ 子ども読書市町担当者会議の開催方法変更（対面→オンライン）による減 ・ ジュニア司書養成講座配布用グッズ購入費減					
2月現計予算額の推移		3,077	4,475	3,759	3,849							
決算額の推移		2,154	3,912	3,348								
前年度までの 主な増減理由	R3 第3次福井県子どもの読書活動推進計画策定に伴う推奨図書を紹介した小冊子の印刷部数が増加したため予算増加 R4 推奨図書小冊子の印刷部数減およびライブラリーステイ（図書館に宿泊して災害を学ぶ）事業を休止したため予算減少 R5 推奨図書小冊子の改訂（3年毎）に伴う配布先増および福井県子どもの読書活動推進会議の委員増員のため予算増加											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県立図書館における推奨 図書の貸出冊数	(目標) 実績	(10,000) 12,491	(10,000) 13,271	(13,000)	(13,000)	(13,000)	(13,000)	県立図書館における推奨図書の貸出冊数を対象とする			
活動指標	講座等の参加者数	(目標) 実績	(325) 272	(325) 430	(325) 472	(325) 447	(325)	(325)	子どもの読書を普及啓発する講座を対象とする			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
R5の成果指標は、R6.4月に判明。 R4成果指標およびR5活動指標は、目標を達成することができた。 推奨図書の小冊子等の作成等により、県立図書館における推奨図書の貸出冊数が目標を上回った。				推奨図書の貸し出し頻度を考慮し、頻度の少ないものについては購入冊数を見直す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	579	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

わくわく読書活動応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			経過年数					2 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[第3次福井県子どもの読書活動推進計画]					
[解決すべき問題・課題] 自主的に読書を楽しむ児童・生徒の割合が低く、改善傾向が見られない。 読書が好きな割合は、小学生が全国で46位、中学生が全国で36位であり、小・中学生とも北陸3県の中で最も少ない。						[問題・課題を表す客観的データ] ふだん読書をしない小学生の割合：24.6% (R5)、中学生の割合：37.8% (R5) 読書が好きな小学生の割合：福井県68.6%、石川県75.2%、富山県74.2% 中学生の割合：福井県64.1%、石川県66.2%、富山県64.4%						
[事業目的] 子どもたちの身近な学校図書館において、県が選定した「推奨図書」を活用した企画への支援を行うとともに、学校図書館スーパーバイザーによる研修、助言、意見交換や、児童を対象とした読書活動推進のためのワークショップを行うことで、子どもの読書習慣の形成につなげる。												
[事業内容] 小冊子「子どもの成長段階に応じた推奨図書（小学生編）」の掲載図書（72タイトル）を活用した企画へ支援するとともに、読書活動推進に向けて新たな取り組みを実施する小学校に学校図書館スーパーバイザーにより、読書推進活動についての研修、助言、意見交換や、児童を対象とした読書活動推進のためのワークショップ等を行う。 ＜取組内容＞ ○推奨図書を活用した企画への支援 ○学校図書館スーパーバイザーによる研修や、助言、意見交換、児童を対象としたワークショップ												
[受益者] 小学生						[想定される受益者数] 約3万8千人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 子どもの読書活動推進事業 (役割分担) 「子どもの読書活動推進事業」では、赤ちゃんから高校生までの子ども全体の読書活動を推進し、「わくわく読書活動応援事業」では、小学生の読書活動を重点的に推進する。				
市町との連携状況	市町教育委員会と協力して、実施校を決定					他県の状況		・国は令和5年3月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を定めた。全都道府県が、子どもの読書活動推進計画を策定し、計画に基づく取組を実施している。				

わくわく読書活動応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			
補助率	-								□ その他			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,139				1,139							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				2,139	1,139	対象校の減						
2月現計予算額の推移				2,139								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	ふだん読書をしない小学生の割合 (%)	(目標)			(23.0)	(15.0)	(20.0)	(15.0)	第3次福井県子どもの読書活動推進計画 目標 15.0% (R6)			
		実績			24.6							
活動指標	ブックトークの実施校数 (校)	(目標)			(17)	(6)	(17)	(17)	取組の基礎となる「ブックトーク」の実績を採用			
		実績			10							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・成果指標、活動指標について、目標を達成できなかった。 (事業による要因) 年度当初に募集を開始できなかったことから、学校行事等との調整が困難であったため。				・募集校数17校から6校に縮小する。 ・年度初めに年間計画を作成、募集を開始し、学校が年間行事等との調整を行いやすくするなど関係者と調整しながら、事業の活用促進を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

「白川文字学」普及活動事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 H17 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]				
[解決すべき問題・課題] 一般部門の白川静漢字教育賞への応募者数が少ない						[問題・課題を表す客観的データ] 「一般の部」応募数 第1回62点、第2回64点、第2回69点、第4回72点、第5回69点、第6回66点、第7回38点、第8回16点、第9回11点 第10回14点					
[事業目的] 白川静博士が平成16年度に文化勲章を受章されたことを機に平成17年度より推進してきた本事業は、令和5年度で19年を迎えた。これまでは学校教育を中心に推進を図ってきたが、今後は、生涯学習において白川文字学を学ぶ場を提供する。											
[事業内容] 「白川静漢字教育賞」の開催 全国から応募のあった漢字教育の実践や児童生徒の作品のうち、優秀事例や優秀作品を表彰するとともに、全国へ発信することにより、漢字教育の発展を図る。											
[受益者] 児童生徒・教員						[想定される受益者数] 約11万人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	白川文字学に関する出前講座を児童館や公民館などで実施					他県の状況					

「白川文字学」普及活動事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 H17 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	913					913						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		1,742	1,506	1,505	1,445	913	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白川文字学ゼミの廃止 ・ 白川文字学こども漢字教室の廃止 ・ 出前講座（県外）の廃止 					
2月現計予算額の推移		931	1,606	1,605	1,545							
決算額の推移		672	1,221	1,174								
前年度までの主な増減理由		R3 白川文字学ゼミおよび白川文字学漢字教室の実施回数減に伴い減額。 R5 白川文字学ゼミの実施回数減に伴い減額。										
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	「白川静漢字教育賞」応募者数（人）	(500) 実績 580	(500) 386	(500) 405	(500) 943	(500)	(500)	(500)	令和2年度は漢字学習講座等への参加者数年間500人を目指したが、令和3年度からは「白川静漢字教育賞」応募者数500人を目指す。			
活動指標	漢字学習講座等の充足率（%）	(12) 実績 11	(100) 100	(100) 100	(100) 100	(100)	(100)	(100)	令和2年度は漢字学習講座等の開催数年間12回開催を目指したが、令和3年度からは漢字学習講座等の定員に対する充足率100%を目指す。令和6年度からは漢字学習講座等が廃止となるため、白川静漢字教育賞記念講演の充足率100%を目指す。			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
成果指標および活動指標について、目標を達成することができた。「白川静漢字教育賞」の小中の部において、美術科や家庭科等との教科横断的な作品の応募が多く見られ、大幅な応募者数の増加につながった。				図書館やこども歴史文化館での展示等により、白川文字学を知る機会があることから、「白川文字学ゼミ」、「白川文字学こども漢字教室」および県外での出前講座を廃止する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	532	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井県立図書館書架増設事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R13 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	-														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]								
[解決すべき問題・課題] 県立図書館に所蔵されている約123万冊の書籍を県民に迅速にサービス提供するためには、毎年度新規で受入する約2.6万冊の本・雑誌をNDC (日本十進分類法) 規則に則って並べる必要があるが、書架が令和6年度中に100%を超えることで規則的な配列ができず、書籍検索に多大な時間を要することになり図書館利用者に対するサービス低下は必至である。						[問題・課題を表す客観的データ] 書庫充填率 R5 : 98%、R6 : 101%、R7 : 103%									
[事業目的] 190万冊 (内、閉架書庫160万冊) の書籍を収容できる施設として開館した県立図書館であり、閉架書庫において94万冊分を収容できる書架は整備済みであるが、66万冊を収容する書架が未整備となっている。令和6年度中には書庫充填率が100%を超える見込みであり、令和6年度中の書架増設整備が必要となる。															
[事業内容] ・電動式集密書架の増設 (令和6年度～令和13年度までの計8か年で353千冊増設) 令和6年度実施分： 図書館書庫3階上層 Bエリア奥 (17千冊収納可能)															
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 75万人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県立図書館書庫増設事業 (実績) 平成21年度に集密書架を44万冊分整備					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	リポジトリ機能 (県内で他に所蔵のない資料を県立で保存) を市町と検討中					他県の状況	石川県立図書館 収蔵能力 230万冊 (令和4年開館) 神奈川県立図書館 50万冊を収蔵する新本館を建築 (令和4年開館)。 旧館は収蔵庫として改装し、収容能力を上げる。 岡山県立図書館 収蔵能力 230万冊 (平成16年開館)								

福井県立図書館書架増設事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R13 年度
事業実施方法	直営													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	15,997					15,997								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						15,997								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	蔵書冊数 (目標) 実績	1,159	1,183	1,196	(1,222)	(1,248)	(1,350)	(1,426)	(単位：千冊) 毎年度、約26千冊所蔵数が増加する。県立図書館としての利用者に対するサービス向上のため一定数の追加購入・冊数の増加は不可欠である。					
活動指標	書庫充填率 (目標) 実績	91	94	95	(98)	(100.0)	(96.0)	(89.0)						
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

青少年教育施設を活用した首都圏の子どもたちとの交流事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営			経過年数					1 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政 策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] (期待できる効果) 自然体験による自尊心・外向性の向上						[問題・課題を表す客観的データ] 文部科学省「令和 2 年度 青少年の体験活動に関する調査研究結果報告」 小学 6 年生の頃の自然体験の機会が多いほど、高校 2 年生時での自尊心が高い傾向がある。						
[事業目的] 北陸新幹線で来県する首都圏および県内の小学生を対象に、青少年教育施設において共に自然体験・探究活動を行う宿泊体験プログラムを提供するとともに、首都圏の保護者にワーケーション環境の提供および県内観光を実施し、子どもの自主性・協調性の育成と首都圏との交流人口の拡大を図る。												
[事業内容] ○首都圏の親子と子どもを対象に、保護者にはワーケーション環境を提供し、子どもには青少年教育施設を拠点とした宿泊プログラム（6泊7日）を提供 (1) 青少年教育施設での自然体験・探究プログラムの実施および県内観光地の見学 ① 青少年教育施設での自然体験・探究プログラム ② 参加者全員での県内観光地の見学 ③ 上記以外の滞在中にかかる経費 (2) 受入体制・設備の準備および広報 ① 教育ボランティアの育成研修の開催 ② ワケーション受入環境（芦原青年の家でのポケット Wi-Fi）の整備 ③ 東京事務所との連携による首都圏での広報												
[受益者] 県内児童、首都圏の児童および保護者						[想定される受益者数] 約100人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

青少年教育施設を活用した首都圏の子どもたちとの交流事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,366				4,152	2,214		諸収入（受益者負担）						
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移							6,366							
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	アンケートでの自主性や 協調性を測る項目の肯定 的評価の割合 (%)		(目標)				(90)	(90)	(90)	プロムラム実施による教育効果をアンケートにて測定 4段階評価のうち、「1 とてもできた 2 わりとできた」の割合				
活動指標	参加者数 (人)		(目標)				(100)	(100)	(100)	参加者：県内児童、首都圏の児童および保護者の数				
実績														
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価						実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価					
—						—			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
—						—			<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	—		
—						—			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

ふるさと文学館貴重資料収納棚整備事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営			経過年数					1 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
寄贈が予定される貴重資料の収蔵場所がない						寄贈予定 R6年度：額装112点 R7～8年度：額装・軸装256点 (文書箱には入らない大型資料であり、現在の貴重書庫には収蔵不可)						
[事業目的]												
福井ゆかりの書家・評論家である石川九楊氏からの寄贈資料を適切に整理・保存することで、教育普及活動を推進する												
[事業内容]												
文書館2階第3書庫の部分改修 <ul style="list-style-type: none"> ・特製のスチール枠木製棚板の収納棚を設置 ・大型資料が収蔵できるよう間仕切り設置、セキュリティ対策および除湿器設置の各工事を実施 												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	武生公会堂記念館(越前市)ほか県内各市町の文学館および博物館に対して福井ゆかりの作家の資料を貸出・展示					他県の状況	[収蔵庫面積] 富山県立高志の国文学館(富山市) 288㎡ 石川近代文学館(金沢市) 122㎡ 全国道府県立文書館(11館)の平均 238㎡ ふるさと文学館 18㎡(現在) → 74㎡(整備後)					

ふるさと文学館貴重資料収納棚整備事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	志尾 武章	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営									R5 年度		
補助率	—									経過年数 1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,793		4,000		793							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				4,793		事業の終了						
2月現計予算額の推移				4,793								
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	入館者数(人)	(目標) 実績	46,883	62,608	61,014	(67,000)	—	(68,000)	(70,000)	平常開館時、年間65,000人(H28~R1平均)		
活動指標	貴重資料受入点数(点)	(目標) 実績	1,839	281	147	(300)	—	(300)	(300)	作家の自筆資料・愛用品、関係者の直筆資料、挿絵等(蔵書は含まず)		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	4,793	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		